

### 3 改革後の見通し

限られた資源のもと、最適な施策・サービス、組織体制を構築

4年後（H22年度）に単年度黒字を実現

次世代の負担（府債発行・減債基金借入額）の抑制

赤字構造からの脱却

膨張から計画期間中に減少へ

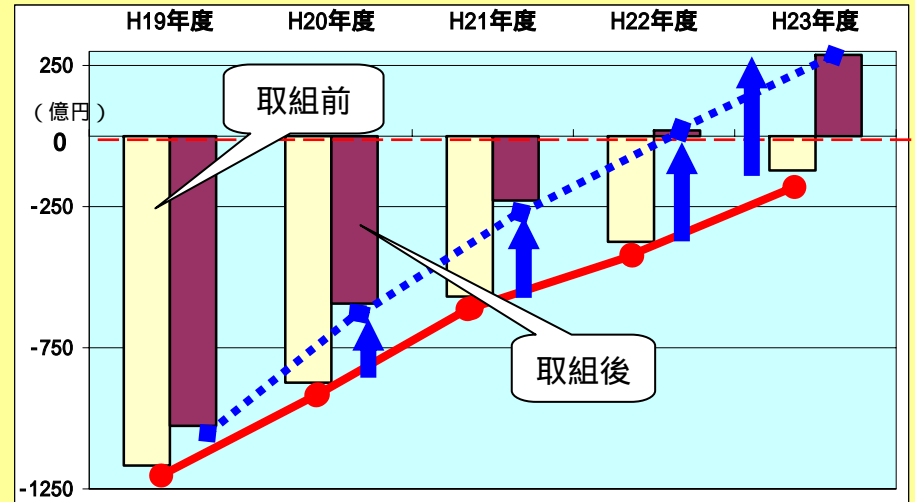
持続可能な行財政構造へ転換

赤字構造からの脱却

（単位：億円）

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
単年度収支	取組前	1,167	873	568	375	122
	プログラム(案)実現後の見込み	1,027	593	228	20	288

H22年度単年度黒字化



府債残高の抑制（臨時財政対策債等を除く）（単位：億円）

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	累計
一般会計 新規発行	起債発行抑制前	1,800	1,600	1,650	1,600	1,450	8,100
	プログラム(案)実現後の見込み	1,700	1,500	1,550	1,450	1,300	7,500
抑制額		100	100	100	150	150	600
全会計府債残高見込み		50,150	50,500	50,900	50,850	50,750	

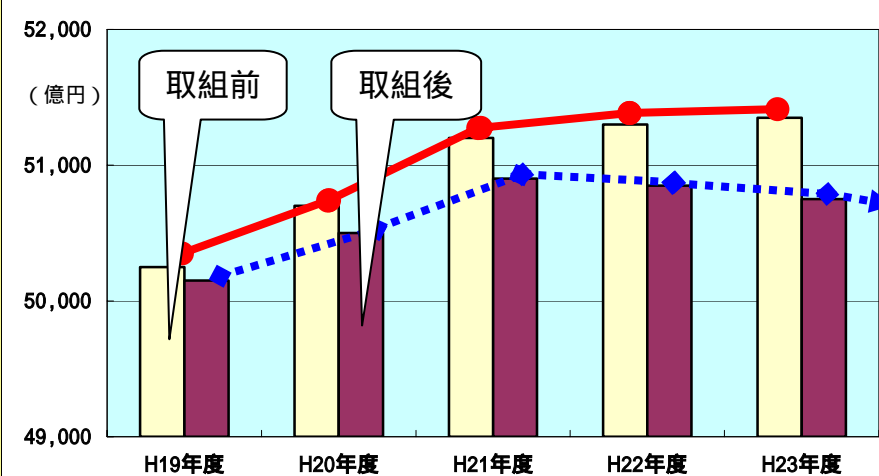
取組内容

- ・ 建設事業の重点化による起債発行の抑制 350億円
  - ・ 行革推進債等の抑制 250億円
- 現行の事業計画等を前提に現時点で見込める事業費等により試算

減債基金借入の抑制（単位：億円）

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
借入累計額	取組前	6,075	6,948	7,516	7,891	8,013
	プログラム(案)実現後の見込み	5,935	6,528	6,756	6,736	6,448
抑制額		140	420	760	1,155	1,565

府債残高見込み(臨時財債等除く全会計ベース)



減債基金借入累計の推移

